



望ましい生活習慣や学習習慣を身につけることが学力向上につながります

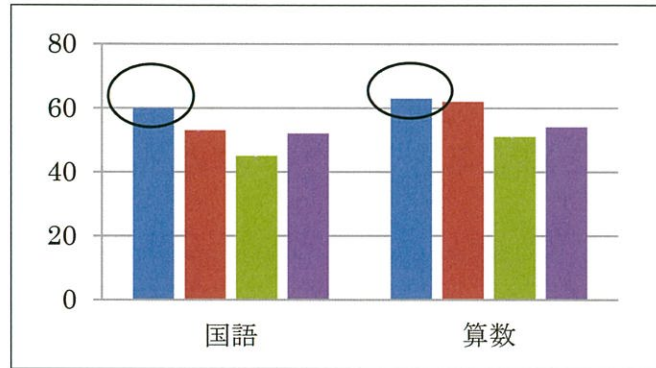


※三木市における平成31年度全国学力・学習状況調査の結果（小学6年生、中学3年生対象）に基づいて作成しています。
各グラフの縦軸は平均正答率（%）を示しています。

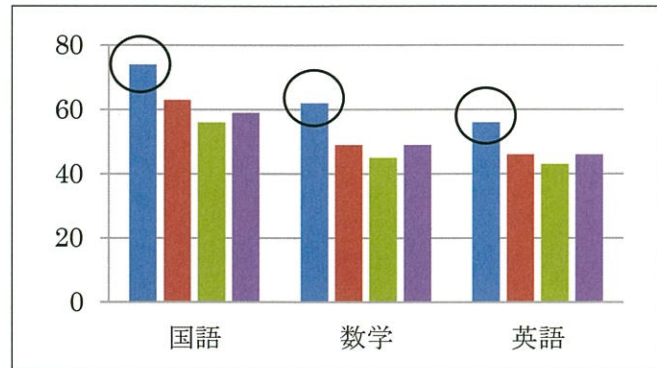
生活習慣と学力の関係

Q. 朝食を毎日食べていますか？

小学校



中学校



■食べている ■どちらかといえば食べている ■あまり食べていない ■まったく食べていない

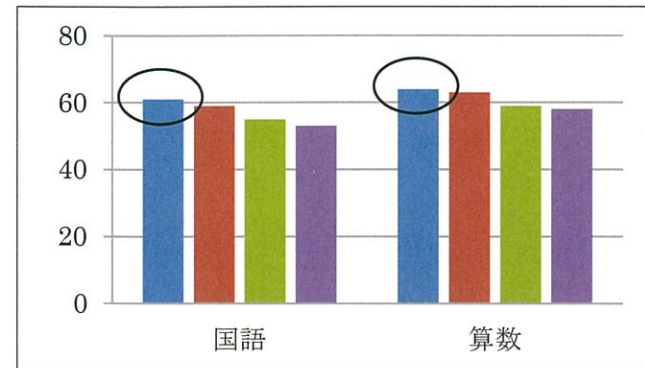
- ・三木市では、朝食を毎日食べている児童生徒の割合は全国と比較して、小学校は同程度であり、中学校はやや高い傾向にあります。
- ・グラフから、毎日、朝食を食べている児童生徒ほど、正答率は高くなっていることがわかります。

☆毎日の規則正しい生活は、子どもの成長には非常に大切な習慣です。特に朝食には、栄養の補給だけでなく、体や脳を目覚めさせる働きがあり、朝から勉強に集中することができます。

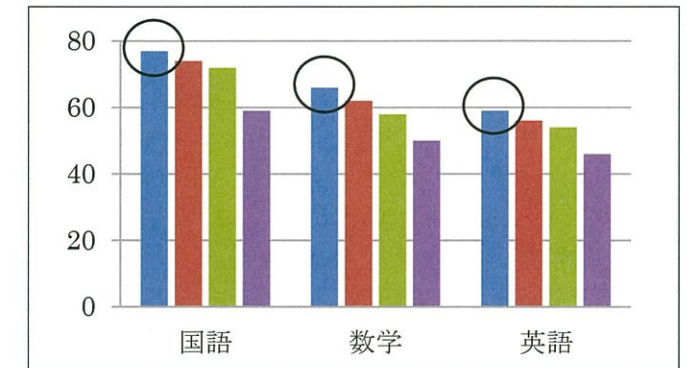
学習習慣と学力の関係

Q. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか？

小学校



中学校



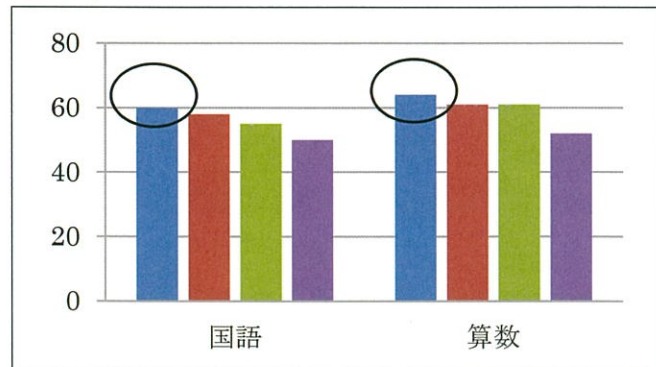
■している ■どちらかといえばしている ■あまりしていない ■まったくしていない

- ・三木市では、自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒の割合は全国と比較して、やや低い傾向にあります。
- ・グラフから、自分で計画を立てて勉強をしている児童生徒ほど、正答率は高くなっていることがわかります。

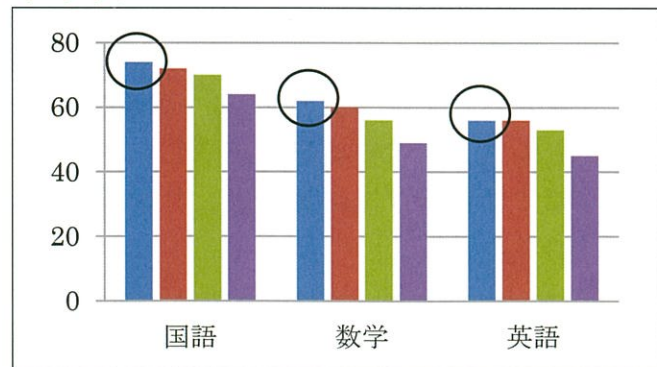
☆漢字の習得や計算練習等は繰り返し学習することが大切で、学校で学習したことを家庭で復習することにより知識の定着を図ることができます。

Q. 自分には、よいところがあると思いますか？

小学校



中学校



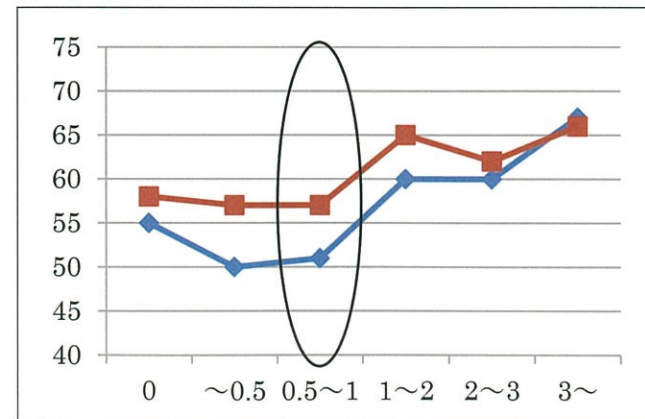
■当てはまる ■どちらかといえば当てはまる ■あまり当てはまらない ■まったく当てはまらない

- ・三木市では、自分には、よいところがあると思っている児童生徒の割合は全国と比較して、やや高い傾向にあります。
- ・グラフから、自分には、よいところがあると思っている児童生徒ほど、正答率は高くなっていることがわかります。

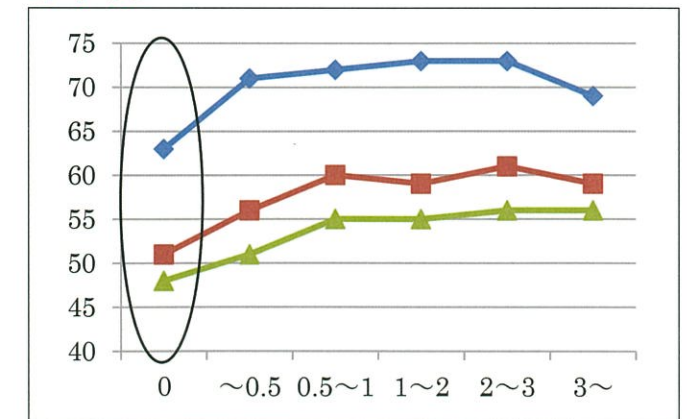
☆「自分には、よいところがある」と考えることができる子どもは、自己肯定感が高い子どもであると言えます。自己肯定感が高い子どもは、自分に自信を持っており、高い意欲を持って様々な物事に取り組むことができます。

Q. 学校の授業以外に一日当たり勉強する時間（平日）

小学校



中学校



—国語 —数学 —英語

- ・三木市では、学校の授業以外に一日当たり1時間以上学習する児童生徒の割合は全国と比較して、小学校は高い傾向にあり、中学校はやや低い傾向にあります。
- ・グラフから、小学校では学習時間が1時間以下から正答率は下がっていることがわかります。また、中学校で学習時間が0の場合は、正答率は大きく下がっていることがわかります。

☆毎日、家庭学習を続けると、基礎学力の定着を図ることができるだけでなく、自主的に学ぶ姿勢が身につきます。小学校低学年から家庭で学習する習慣をつけていきましょう。